



美郷町立田代小学校

学校だより

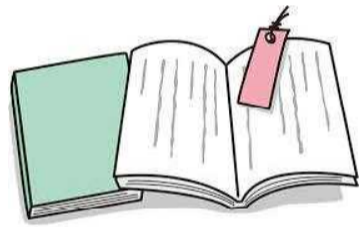
令和元年9月18日(水)発行

美郷町立田代小学校
〒883-1101
東臼杵郡美郷町西郷区田代 620 番地
TEL (0982) 66-2007
FAX (0982) 68-2027
児童数 (73名)
園児数 (21名)
職員数: 小学校・幼稚園 (24名)
令和元年9月18日人数

【文責】
田代小学校 校長 島木 良浩

2学期もがんばります 『私の目標』

8月27日(火)に2学期がスタートしました。始業式で4年生の寺原美優さんが代表で2学期の目標を発表してくれました。その作文を紹介します。他の児童も一人一人自分の目標を立てました。目標に向かって一日一日を元気に、笑顔でそして有意義に過ごしてほしいと思います。



私の目ひよう

田代小学校 四年 寺原 美優

私は、二学期をむかえてできるようなりたい
ことが三つ あります。

一つ目は、一番苦手な算数のテストで百点をと
るようがんばることです。私は算数のテストで
あまりいい点数は、とれませんでした。だから、
二学期は一生けんめいに勉強してテストで百点を
とれるようがんばりたいです。

二つ目は、本をたくさん読むことです。一学期
は読んだ数が四十三さつなので二学期は六十さつ
をめざして読んで、全校で一萬さつをたっせいし
たいです。

三つ目は、せいりせいとんをすることです。私
はかたづけするのが苦手です。一学期の終わりにみ
んなでロッカーをきれいにかたづけました。ロッ
カーがすっきりせいとんされました。私たちは、
とてもすっきりした気持ちになりました。二学期
は、日ごろからきちんとかたづけられるように
がんばりたいです。

私は、二学期のこの三つの目ひようのことをし
っかりと考えて、学校生活をすごしていきたいで
す。また、上学年として下学年のあこがれになる
4年生になりたいと思います。

『地震です。地震です。緊急地震速報です。』

緊急地震速報のサイレン放送が校内に流れました。避難訓練の始まりです。『9月4日(水)の10時45分 美郷町で大きな地震が起きた』という想定で避難訓練を行いました。児童には、「近日常に避難訓練を行います。」とだけ伝えておいて、詳しい日時は知らせていませんでした。しかし、すぐに机の下に入り身の安全を確保してじっと待っていました。「運動場に避難してください」という放送で速やかに静かに避難を始め、2分30秒で全員無事に避難を完了しました。

始業式でも「地震」の話をしました。

「大正12年9月1日に「関東大震災」が起こり、その後9月1日は「防災の日」となりました。実は美郷町(当時は西郷村)にも大きな地震が起きています。

『昭和62年3月18日12時36分日向灘沖でマグニチュード6.6の地震が発生、田代小学校は、鉄筋3階建ての校舎のいろいろなところにひびが入って使用禁止のとなりました。

そこで、村が持っていた木(その頃は西郷村と呼ばれていた。)を使って木造2階建ての校舎を昭和63年3月に新築し、自然と調和した柔らかさとあたたかみのある校舎へと生まれ変わりました。

田代幼稚園も以前は、小学校の1階校舎の普通教室を使っていましたが、地震で校舎が使用できなくなり、田代小学校施設から独立した幼稚舎を建築することになりました。平成元年2月27日木造平屋のあたたかい雰囲気のある新園舎に移転しました。』

と西郷村史(西郷村の歴史が書いてある本)に載っていました。

いつ地震が起きるか分かりません。そのときにどうするのかは、学級の先生と話し合っ『どのように逃げればいいのか、どこに避難すればいいのか。』を確認しておいて下さい。』という話をしました。

その行動を確認するための避難訓練でした。地震だけでなく周りにはいろいろな危険があります。「自分の「命」は自分で守る」を常に考えて行動できるようにしましょう。家にいるときに地震が起きたらどうするのかも話し合っおいてください。

8月30日(金)の給食は、「救給(きゅうきゅう)カレー」でした。非常食のカレーで、「いのちをつなぐ」カレーとして、給(食)を救うカレー『救給カレー』という名前になったそうです。全国の栄養教諭・学校栄養職員の手により、災害被災体験の教訓をもとに非常時に備えることを考え、成長期の子供たちの栄養バランス、心の安定、体力保持等、心身の健康に寄与することを目指して、ライフラインが途絶えた中で、救援物資が届くまでの72時間の間「命をつなぐ」ための非常食を、専門職ならではのこだわりをもって開発されました。

非常食をいただく良い機会となりました。おいしく頂きました。



